

# 図解でかんたん

# SEO

世界が注目する  
SEO のプロ 34 人が選んだ  
効果的な SEO ベスト 10



アフィリエイト初級者が報酬アップのために  
何をしたらよいかを書きました。(著)和田タダシ

Google および Google AdSense はグーグル株式会社の登録商標です。

## はじめに



こんにちは、当レポート著者の [和田タダシ](#)と申します。

この度は無料レポートをダウンロードしていただき、  
本当にありがとうございます。

このレポートでは、サイトアフィリエイトの大きな課題「SEO」について、誰もがができるような効果的な手法を厳選して紹介しています。といっても選んだのは私ではありません。ただ解釈は私がしています。間違っている部分があったらご指摘いただけますと、うれしいです。

この無料レポートを実行する事によってあなたは・・・

無料でできて効果的な SEO を施したサイトを作れるようになります  
今後、SEO のノウハウや情報に振り回されることがなくなります  
検索エンジンの順位変動に気をとられなくて済みます

今回ご紹介するのは、[Google Search Engine Ranking Factors](#)  
その日本語訳 「[Googleの検索ランキングアルゴリズムの構成要素と推測される 53 個の要因](#)」をさらに解説してみました。

一言で言えば、Google で上位表示させるために必要な要素を 53 個、  
トップクラスの SEO 専門家 34 人の投票で選ばれたものです。

つまり、コレだけやっておけば、知っておけば SEO のノウハウに  
振り回される心配はなくなります。

とはいえ、53 個全てをチェックするのは大変です。

初級者さん向けに最重要のトップ 10 を図解入りで紹介します。

説明はやさしくしていますが、内容は上級者向けのものです。

### Top 10 Ranking Factors in 2007

1. Keyword Use in Title Tag (4.9)
2. Anchor Text of Inbound Link (4.4)
3. Global Link Popularity of Site (4.4)
4. Link Popularity within the Site's Internal Link Structure (4.1)
5. Age of Site (4)
6. Topical Relevance of Inbound Links to Site (3.9)
7. Link Popularity of Site in Topical Community (3.9)
8. Keyword Use in Body Text (3.9)
9. Global Link Popularity of Linking Site (3.7)
10. Topical Relationship of Linking Page (3.6)

1. タイトル内のキーワード (4.9 ポイント)
2. リンク元のテキストリンク (4.4 ポイント)
3. サイトのページランク (4.4 ポイント)
4. サイト内リンクの構成 (4.1 ポイント)
5. サイトの年齢 (4 ポイント)
6. 関連キーワードでリンク (3.9 ポイント)
7. コミュニティからリンク (3.9 ポイント)
8. 本文内キーワードの質 (3.9 ポイント)
9. リンク元サイトのページランク (3.7 ポイント)
10. リンク元と関係した話題 (3.6 ポイント)

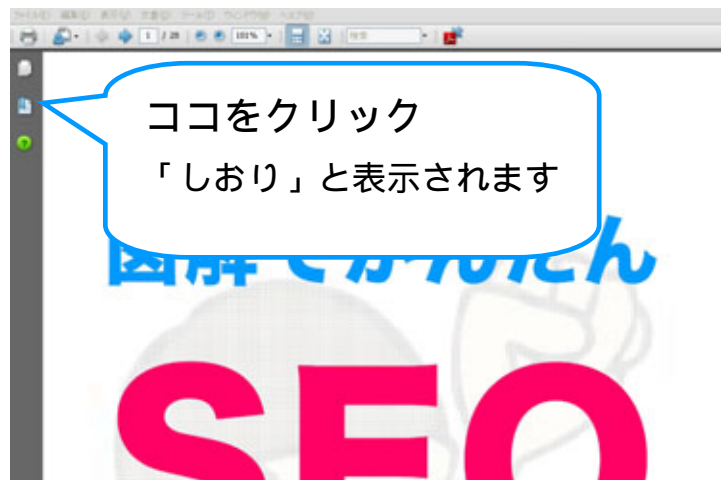
書いてあることは一見難しそうですが、実はそうでもありません。

そのまえに・・・今回は、目次のかわりに、「しおり」を用意しました。

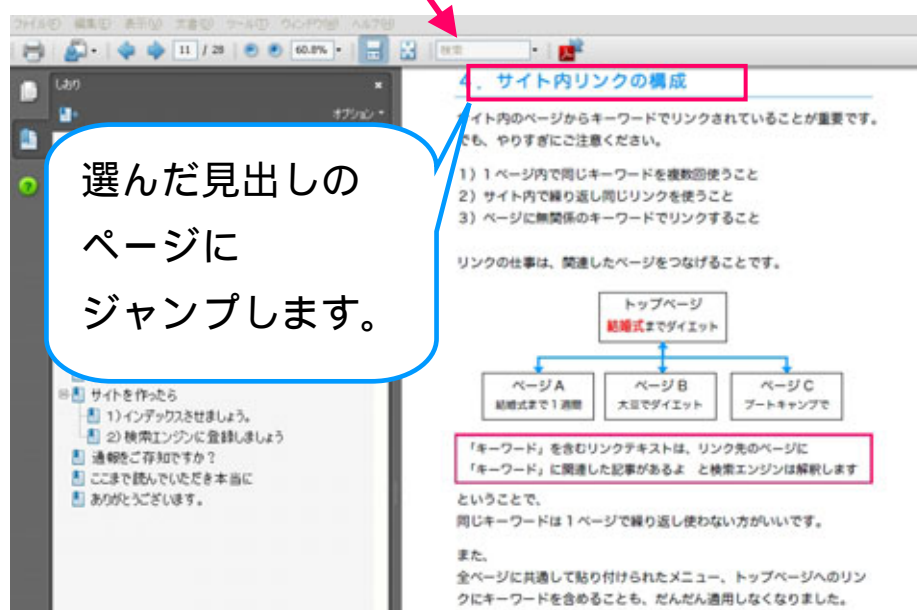
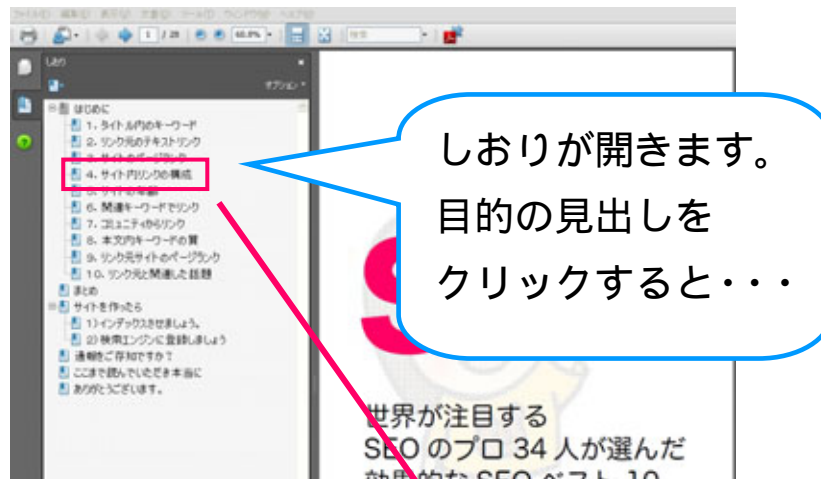
しおりの使い方（目的のページへ2ステップでジャンプします）

ステップ

1



2

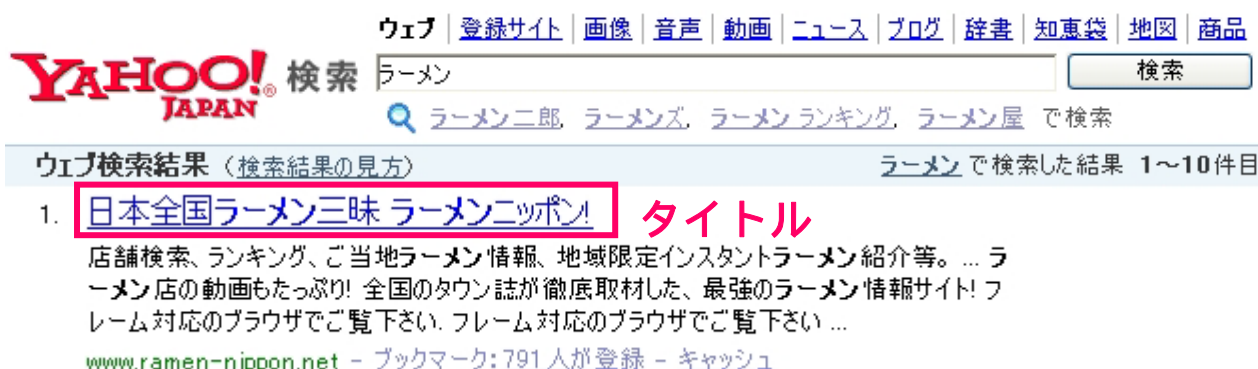


とても便利です。ぜひご利用下さい。それでは本編をはじめます。

## 1. タイトル内のキーワード

タイトルに狙ったキーワードが入っていること。コレが最重要。  
タイトルというのは、タイトルタグ<title>の文字列のことで、

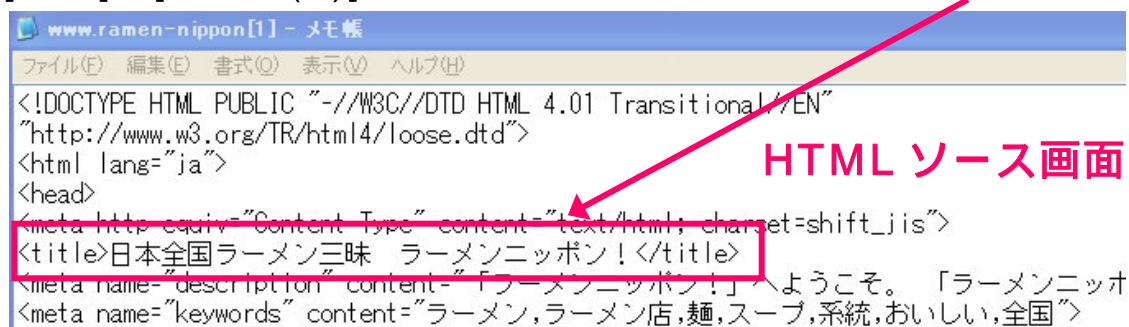
「ラーメン」をキーワードにした場合、検索エンジンでは  
このように表示されます。



Internet Explorer などのブラウザでページを表したときはココ



[表示] [ソース(C)]で HTML ソースを表示したときはココ



<title>のことをタイトルタグと呼びます

それは知ってます? ...失礼

それでは、絶対やってはいけないことを補足します。4つあります。

タイトルの作り方でやってはいけないことは4つ。

- ✓ ページと無関係なキーワードを使わない
- ✓ キーワードを連続してつかわない(最大2回まで)
- ✓ 先頭に ! などの記号を使わない
- ✓ あまり長くしない(全角30文字程度)

ページに無関係なキーワードを盛り込むと、ユーザーも混乱しますし、タイトルと本文が一致したサイトが優遇されます。

キーワードは先頭にあるほうがより重要視されるようです。  
そのため、先頭の記号文字は不利になります。

キーワードは、文章形式のほうが検索エンジンとの相性が良いです。

また、同義語を使うことで、ユーザーに対してしつこく見えませんし  
関連ワードとして検索エンジンも解釈します。

---

例：SEO と 検索エンジン上位表示

---

文字数は20～30文字を目安に、表示されたとき  
途切れさせないのがポイントです。



検索エンジンでの表示結果です。

Google ( 3 3 文字 )

[タイトルでSEO | 自分で行うホームページ作成術と検索エンジン上位表示 ...](#)

それでもぎりぎりまで長いタイトルにしてSEOで有利に働かせることにはとても意味のあることです。また、**タイトルの長さ**ではなくタイトル中のキーワードの位置にも注意しなくてはなりません。なるべく左側が原則です。...

[www.office-onoduka.com/info/keyword/seo1.html](http://www.office-onoduka.com/info/keyword/seo1.html) - 12k - [キャッシュ](#) - [関連ページ](#) - [メモをとる](#)

Yahoo ( 3 4 文字 )

[タイトルでSEO | 自分で行うホームページ作成術と検索エンジン上位表示対策 ...](#)

それでもぎりぎりまで長い**タイトル**にしてSEOで有利に働かせることにはとても意味のあることです。また、**タイトルの長さ**ではなく**タイトル**中のキーワードの位置にも注意しなくてはなりません。... SEO的にはマークなどは使わないほうが無難です。...

[www.office-onoduka.com/info/keyword/seo1.html](http://www.office-onoduka.com/info/keyword/seo1.html) - [キャッシュ](#)

## サイト名とページ名を「 | 」でつなげて書く方法

図のように、コンテンツの概要とサイトのタイトルを一緒に書くことで、サイトの構成も伝えられます。これは、ユーザーにとっても検索エンジンに対しても、親切なつくりになります。

また、上の図では、サイトタイトル | ページ説明文となっていますが、サイトタイトルは前ページ共通の場合、キーワードを含んだページ説明を先に書くと、狙ったキーワードで検索結果に表示できます。

---

タイトルで SEO | 自分で行う **ホームページ作成術** と検索エンジン上位表示対策

自分で行う **ホームページ作成術** と検索エンジン上位表示対策 | タイトルで SEO

---

ページ説明文の部分ですが、単にキーワードを盛り込むのではなく、クリックした先のページに何かが書いてあるか事前にわかる書き方がクリックされやすいです。

簡潔にページの内容を表現するのがポイント。

## 2 . リンク元のテキストリンク

---

外部リンクのことを専門用語でインバウンドリンクとよびます。  
ここでのポイントは3つあります。

- ✓      **リンクは画像リンクよりもテキストリンクの方が効果的**
- ✓      **同じリンク文より、さまざまなリンク文のほうが効果的**
- ✓      **キーワード単体より文章の一部のほうが効果的**

検索エンジンが「画像リンク」よりも「テキストリンク」を重視するのは、テキストリンクの方が、ロボットが理解しやすいからです。

**テキスト   >   タグ   >   属性   の順で解釈されます。**

テキスト   は   文字

タグ        は   < >   で囲まれたもの

属性        は   alt=""（オルト属性） や   title=""（タイトル属性）

ゆえに、テキストにリンクがついたものが一番有利になります。

テキストリンクというのは、[青文字に下線の文字リンク](#)のこと。

`<a href="リンク先 URL">キーワード文</a>`



画像リンクは、バナー画像にリンクがついたもの、  
alt 属性にキーワードが入ります。

`<a href="リンク先 URL">`

`</a>`



また、画像のリンクが不利な理由として、  
alt="" は本来キーワードではなく、画像が表示しない場合にどのような画像なのかを言葉で表現するために用意されたものです。

勘違いすることもあるので書いておきます、  
タイトルには 2 つあります。属性とタグです。

---

4 ページの<title>は、タイトルタグ  
ここでいう title = "" はタイトル属性とよび、まったくの別物です。

---

リンクには、下記のように title 属性を追加できます。  
ですが、正直あまり SEO の効果はありません。title は追加の属性であり、  
主に音声ブラウザと呼ばれる視覚障害者向けのサービスで使われるものだからです。

---

```
<a href="リンク先 URL" title="ラーメン案内">ラーメン案内</a>
```

```
<a href="リンク先 URL" title="ラーメン案内">  
</a>
```

---

SEO 的にこの解釈は日々変わっていますが、どちらにせよ  
テキストリンクに勝るリンクはありませんのでご安心ください。

### 3 . サイトのページランク

あくまで、ページランクは指標です。

ページランクが高い = たくさんのページからリンクされている  
 というのは、いいかえると

リンクされている = 参照されている

リンクが多い = たくさん参照されている

たくさんのページから参照されているなら、そのページは重要だろう

確かな情報、紹介したいくらい良い、面白い、ためになると判断

この流れを、自動化したものがページランクです。

Internet Explorer、Firefoxの場合 [googleのサービス](#)

それ以外の場合 [参考ページ](#) ([ここ](#)より使いやすい)

画面だとここに表示されます。



Google ツールバーを入れていて表示されない場合は、

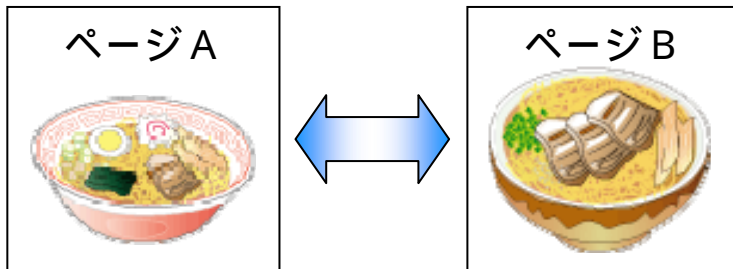


設定をクリックして、オプションから、詳細のタブをクリック

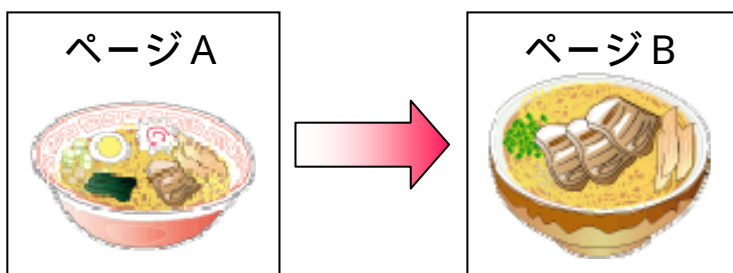
Page Rank にチェックを入れることで表示されます。

また、リンクには、相互リンクとナチュラルリンクの2つがあります。

ページ同士がリンクし合っている「**相互リンク**」



一方的にリンクされている「**ナチュラルリンク**」



リンクの評価は、支持率みたいなものなので、相互リンクより一方的にリンクされているナチュラルリンクの方が**効**果的です。

相互リンクはお願いすればできますが、ナチュラルリンクは、リンク先に何らかのメリットがないと、もらえませんよね  
じゃあ広告がいいのかといったら、関連性が低い場合は・・・

また、単に自分で新しくページをたくさん作り、ドメインを分けて

ナチュラルリンクを**演出**してもあまり意味がありません。

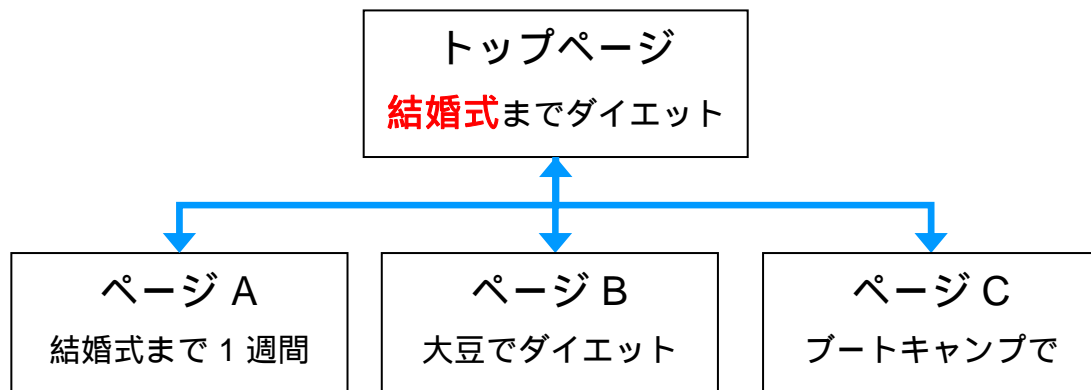
その場合は、リンク元ページも他のページからリンクを貰い、インデックスさせて、急激に増やさないことが怪しまれないコツです。

## 4 . サイト内リンクの構成

サイト内のページからキーワードでリンクされていることが重要です。  
でも、やりすぎにご注意ください。

- 1 ) 1 ページ内で同じキーワードを複数回使うこと
- 2 ) サイト内で繰り返し同じリンクを使うこと
- 3 ) ページに無関係のキーワードでリンクすること

リンクの仕事は、関連したページをつなげることです。



「キーワード」を含むリンクテキストは、リンク先のページに  
「キーワード」に関連した記事があるよ と検索エンジンは解釈します

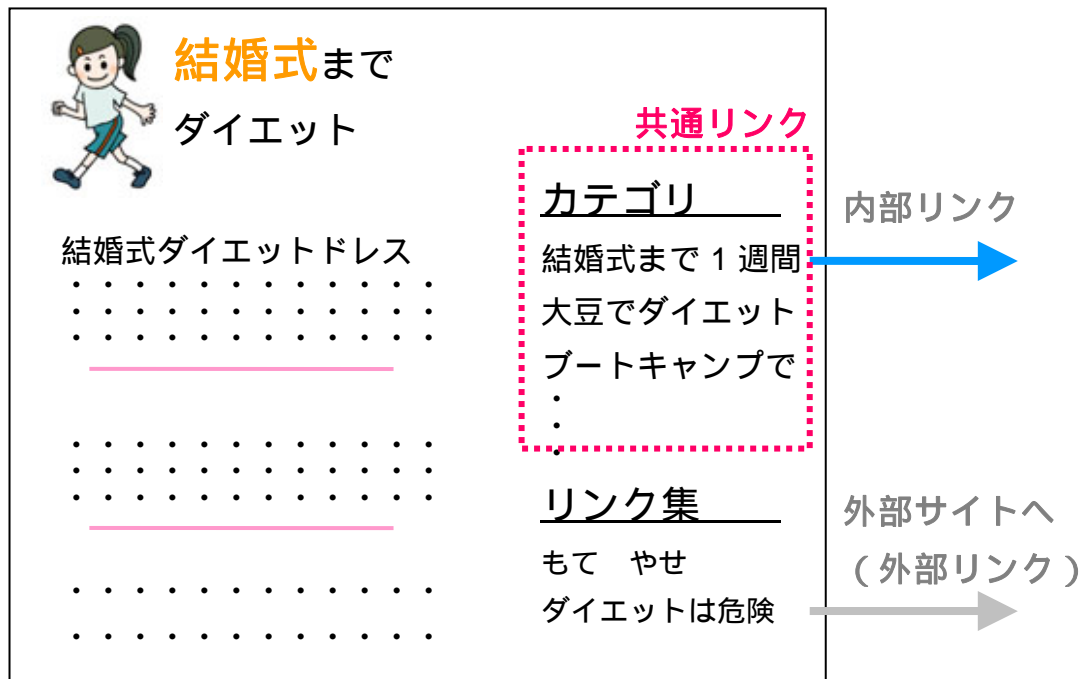
ということで、

同じキーワードは 1 ページで繰り返し使わない方がいいです。

また、

全ページに共通して貼り付けられたメニュー、トップページへのリンクにキーワードを含めることも、だんだん通用しなくなりました。

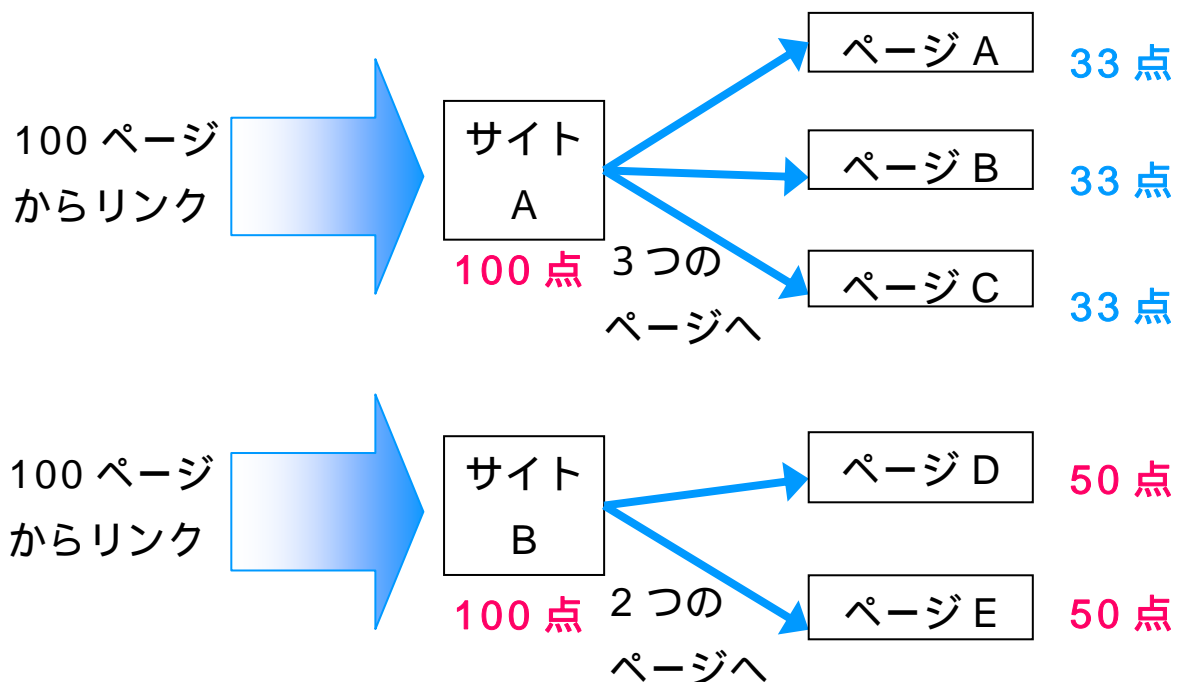
やりすぎはペナルティ対象になります。



(リンク元) ページに貼られたリンク数が少ないほど、  
リンク元ページのリンクは重要だと解釈されます。

Google ページランクも、この考え方を利用しています。

### ページランクのイメージモデル



Googleは [ページのリンクの数を 100 未満に抑える](#) と言ってます

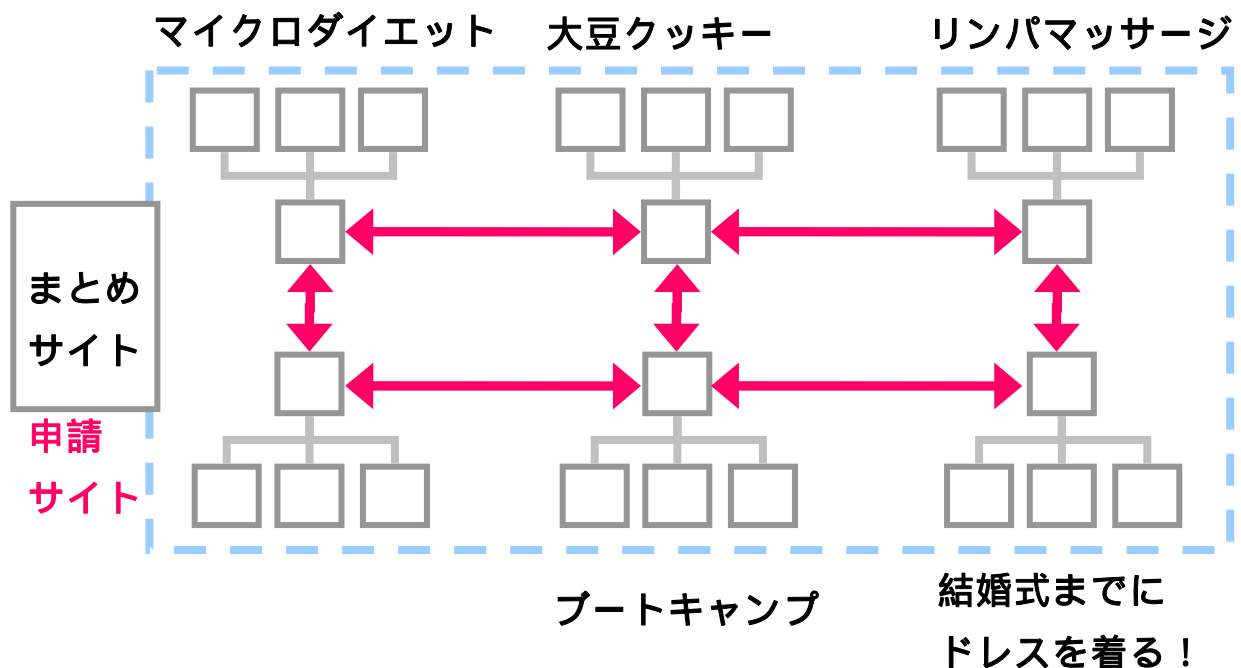
デザインおよびコンテンツに関するガイドラインより  
ユーザーも 100 ものリンクをクリックしないでしょうし、  
クローラーの負担を減らすためでもあります。

そのため、最近のアフィリエイトサイトには、1 サイト 1 ページ  
だってあります。そのほかに多いのが、  
ページからリンクしているコンテンツ数を抑えて、テーマごとにたくさん  
ブログを作る。それぞれのトップページをリンクでつなぎ、まとめ  
ページを作る

結果的に大きなテーマのサイトを作ることを行っています。

リンクするのはトップページ同士でなくてもいいです

サイトはドメインでもサブドメインでもブログでも何でも OK





1 サイト 1 ~ 20 ページ、同じジャンルでグループをつくるって、各サイトへのリンクを貼ったまとめページを作ることによって・・・

[Yahooカテゴリ](#)も狙えたりします。

Yahoo からのリンクは SEO 的にも強力で、カテゴリが違っていても影響力があります。

これも余談ですが、すでに大きなサイトが登録済みのカテゴリは、ユーザーの求めているような切り口に工夫すると登録されやすいです。

ということで、サイト内のリンクの数を（SEO 的に）抑えるため、メニューやトップページへのリンクに nofollow 属性をつける手法があります。

nofollow 属性とは、検索エンジン（クローラー）に対して  
「このリンクは無視して = リンク先のページの index は必要ないし、更新の確認もしなくていいです」という命令です。

検索エンジンに認識されるリンク数をコントロールするための書き方

```
<ul>  
<li><a href="URL" rel="nofollow">メニュー1</a></li>  
<li><a href="URL" rel="nofollow">メニュー2</a></li>  
<li><a href="URL" rel="nofollow">メニュー3</a></li>  
</ul>
```

こんな感じで、リンクの中に rel="nofollow" を書くだけです。  
(ブログサービスの場合はテンプレートに書くことになります)

---

```
<p><a href="URL" rel="nofollow"> トップページへ</a></p>
```

---

また、サイト内のメニューにキーワードをたくさん埋め込んであっても、それは、記事 = コンテンツとして重要なものではないと判断されます。

トップページへのリンクも同じテキストであれば同じです。

同じドメイン内で、単純にいくらリンクしても上位に表示できないのは、  
サイト製作者の自作自演防止対策でもあるんですね。

ユーザーの役に立つサイトを作る、そういった考えが重要です。

## 5 . サイトの年齢

検索エンジンはページごとに認識しているので、ここでは、ページの年齢と解釈します。

**実**はこの年齢、あなたがページを作った日ではなく  
検索エンジンに認識（index）されてからの日数になります。

検索エンジンに認識されることを、クロールや index と呼びます。  
検索エンジンに index されるためには、検索エンジンに index 済みのページから、リンクされていなければなりません



しかも、検索エンジンに昔登録されていたものよりも  
最近更新したページ（クローラーが頻繁に来ているであろう）からリンクを貰うことをお勧めします。

クローラーが来ないと、index もされません

更新頻度が高いページ、ページランクが高いページには、毎日のように Google や yahoo のクローラーがやってきます。  
そのサイトからのリンクをたどり、あなたのページを見つけます。

ちなみに、Google サイトマップや yahoo のサイトマップを作ってもリンクされていないければ、見つかったとしてもすぐに検索結果には表示されません。

---

リンクされていない = 必要とされていない

---

という解釈もできます。

毎日クローलさせるために、[Yahoo!で自分のサイトをガンガン露出させる方法](#)（図解でわかりやすい）を使うのもおすすめです。

また、古ければいいと曲解される方も多いので、触れておきます。海外には、期限切れドメイン（なぜか高ページランクのページから多数リンクされている）ドメインを購入することがあります。

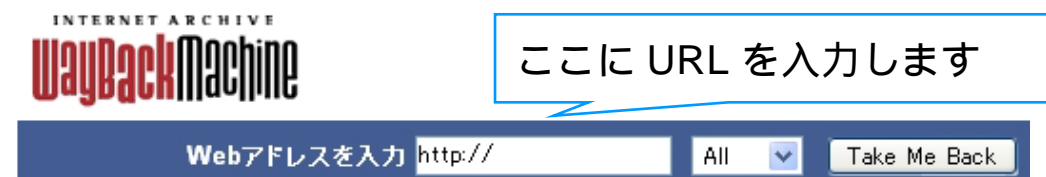
実は、期限切れドメインを購入することは、時間をお金で買うことになりませんし、放置されているにはそれなりの理由があります。

---

犯罪に使っていた、検索エンジンからペナルティを受けてしまった。ハッカーに侵入されてぼろぼろにされた・・・枚挙に暇がありません

---

ドメインの歴史は、こういうところで見られます（[楽天の場合](#)）



ということで、見えているページランクや被リンクはあくまで見た目、言語が違う(英語 日本語)、テーマが違う(アダルト 金融)の場合、ページランクも被リンクもほとんど考慮しないと、Google は言っています。ちなみに yahoo もユーザー利益のために同じ解釈です。

## 6 . 関連キーワードでリンク

リンク元サイトとどのくらい関連しているかがポイントです。  
この関連性は、検索エンジンの持つデータベースに判断されるので  
あなたが関係あるとおもっていても、そうとは解釈されません。

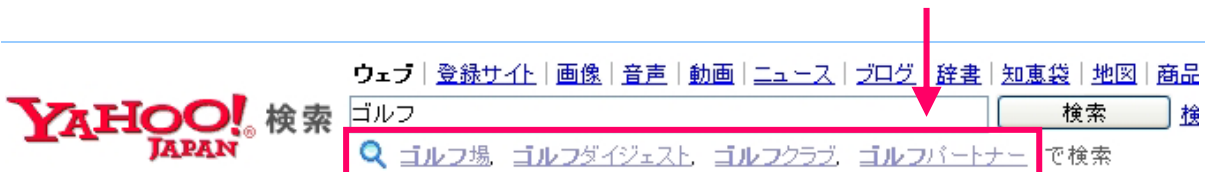
こんな感じです。 キーワード「ゴルフ」の場合  
評価

ゴルフボール、ホールインワン

バーディチャンス、バンカー脱出

? クラブの選び方、シングルの秘訣

ゴルフ場、ゴルフパートナー（yahoo の関連ワード）



関連キーワードの探し方は [コチラのレポート](#) をご参照ください

また、キーワードの質と量と、記事の内容も考慮されます

検索結果に質の低いサイトが表示されることが多ければ、  
そのような検索エンジンは使わなくなるかもしれません

サイトにあるリンクをたどって、情報は探されるものですので。

## 7. コミュニティからリンク

---

コミュニティというのは、大勢の人が集まっている口コミ掲示板や相談サイト、もう少しひろげて SNS やブログを意味します。

簡単に言えば、お悩み相談サイトから自然にリンクされていればそのリンク先のサイトは、その悩みの解決をサポートするサイトであると判断できます。

yahoo には、yahoo 知恵袋がありますし、Google にもブログがあります。大切なのは、自然とリンクされていること。

---

書き込みの頻度、それに対してリンクが貼られたタイミングが「不合理でない」「確からしい」ものであれば、評価されてもいいですね。

---

自作自演の場合、どこかに不合理さが見えます。

質問書いて1日おいて、自分のサイトを照会した書き込みをする  
その後、ほかの誰も書き込まない。誰も見にこない・・・。

一日に、たくさんのサイトから、リンクされてしまう。でも、その翌日以降には、一切リンクが増えていない・・・

どう考えても怪しいです。

まして、できたばかりのページで、検索エンジンに index されていないのに、コミュニティサイトからリンクされている

機械的に判断するのは難しいとおもいますが、それでも、なんらかの判断基準（検索エンジンアルゴリズム）は仕込まれています。



## 8 . 本文内キーワードの質

---

キーワードを含んだ記事なので、キーワードが含まれていなければなんか変です。キーワードはタイトルと類似していないと、それもまたおかしいです。

検索エンジンは、HTML ソースを解釈しています。

タイトルに使われている「キーワード」が

- ✓      どの部分にどのように配置されているのか
- ✓      タイトルと一致しているか
- ✓      関連キーワードは入っているか
- ✓      キーワードが使われすぎていないか
- ✓      隠しテキストなど検索エンジンスパムをしていないか

キーワードは使われすぎていれば、怪しいと判断します。

キーワードはあくまでキーワードなわけで、本文中には文章の一部として表示されるのが適切だと解釈しています。

キーワードの適正量は本文のテキストの 5 %といわれています。

[アドセンス収入が3倍にアップ【TAS法の正体】](#)を使えば、自動的に 5 %に調整することもできますが、コレはコレで難点もあります。

キーワードを含む文章で、何を表現しているページなのかを適切に検索エンジンに認識させる必要があります。

しかも、自然にキーワードをちりばめながら作ることをお勧めします。

## 9 . リンク元サイトのページランク

リンクをもらうなら、できる限り Google ページランクが高いサイトからもらった方がいいということです。

(Yahoo も似たような仕組みで動いていると思っていいです)

リンクされるページとリンク元が関連した内容であることが重要です。

たとえば、慶応大学 (SFC) のページランクは 8



ですが、SFC のページから、ほぼ無関係のダイエット紹介ページにリンクしたとしても、上位表示はしないでしょう。

また、リンク元が急に増えるのも敬遠されます。

検索エンジンがあなたのページを index したあとも、内部/外部ページはどのようなタイミングで変更されている/増えているのかはずっと監視されています。

リンク元サイトの評価とあなたのサイトの評価は連動します。

手動の検索エンジンに短期間に登録、ページランクが高いサイトからしかリンクされているは怪しいですね。

自動ツールで月 1000 件・・・非常に怪しく見えるわけです。

オススメは 1 日 1 件、これなら少なすぎず多すぎません

また、ページランク 4 のサイトからしかリンクがないとか、

不自然ですね。

## 10 . リンク元と関連した話題

---

ココでの関連性というのは、時事的なもの、話題性が高いサイトかどうか。話題性が高いといえば、ニュースサイトやブログです。

検索エンジンは、ニュース性の高い情報を探しています。

少々裏技的ですが、ニュースサイトにコメントやトラックバックを打つ手法が少し前は有効でした。いまでも、効果は多少あります。

コメントもトラックバックも、適切に使えば非常に有効なんですけど自動ツールではうまくいきません、その点ご注意ください。

トラックバックは、コミュニケーションツールなので、最初にコメントで挨拶しておくとか、段階を踏んでいけば、強力なバックリンクになります。

ですが、最近では、nofollow 属性というものがあります。

---

`<a href="リンク先 URL" rel="nofollow">キーワード文</a>`

---

書き込みしても、赤字の部分が自動挿入されます。コレは何かといいますと、検索エンジンのロボットがリンクをたどりませんという意味です。

つまり、リンク元にも、リンクをとってロボットがやってくるわけでもありません。Yahoo でも、ページランク 10 のサイトからリンクされても、リンクされている意味がなくなります。ご注意くださいね。

## まとめ

以上が、検索エンジン上位表示するための要素トップ10です。

- 1 . タイトルにキーワードを入れるのが重要です。
- 2 . リンクはテキストリンクでもらいましょう
- 3 . 多数のページから支持されてページランクを上げましょう
- 4 . サイト内のテキストリンクは工夫しましょう
- 5 . 一日も早くインデックスさせましょう
- 6 . 記事の重要なキーワードでリンクをしましょう
- 7 . 人が集まるページから参照してもらいましょう
- 8 . 本文内のキーワード量に気をつけ書き方を工夫しましょう
- 9 . リンク元サイトのページランクも気にしましょう
- 10 . リンク元と関連した話題で記事を書きましょう

こうみるとどれも基本ですね

正攻法が、一番強いということでしょうか

ブログサービスによっては、テンプレートを多少改造したほうが良いものもありますが、それよりも、なにより index させることが重要です。

## サイトを作ったら

### インデックスさせましょう。

---



とはいえ、まだページを持っていないときは  
シーサーブログや [ココ](#)をつかうと簡単にindexされます。  
大手のブログは、ページを作るとそのブログのトップページにある  
新着をたどって、クローラーがやってきます。

### 検索エンジンに登録しましょう

---

それぞれのページから、サイトのトップページに登録しましょう  
個別ページは登録しないほうがいいです。怪しまれます（笑）

Yahoo! JAPAN <http://submit.search.yahoo.co.jp/add/request>

Google <http://www.google.co.jp/addurl/?hl=ja&continue=/addurl>

MSN サーチ <http://beta.search.msn.co.jp/docs/submit.aspx>

---

この3つだけで十分です。あとは、さきほどの、1～10の中でできる  
ものからはじめてみてください。1週間で10位以内も十分狙えます。  
すでにindexされているサイトから必ず1つリンクさせてください。

## ping (ピン) について

---

ピンは、ブログサイトの機能で、更新のお知らせです。

その「更新しました」のお知らせをブログサービス会社に送ることで同社のブログサービスを使っていなくても、ping が打てます。

ping が取り上げられる理由は、更新頻度がわかるから。

---

検索エンジンは常に、ユーザーに役立つ情報を探しています。

更新された/新しい記事が投稿された情報は、重要だと判断されブログサービスの ping サーバーの情報を元に検索エンジンロボットが ping を発信したページにやってきます。

---

実は、[pingoo \(ピングー：参考レポート\)](#)や、ぶろっくぴんぴん ([参考サイト](#)) を使うと、更新していなくてもPingが打てます。

ただ、ping を受け取るサーバーの負荷を減らすため、たくさん打つと、各社サーバーが受け取れないときは、エラーが出ます。

それに、この ping サーバー、互いに情報を取り合っているので、影響力のある ping サーバーに打てば、100 箇所に打つ必要はありません私が使って効果を試しているのは、これだけ。

<http://ping.cocolog-nifty.com/xmlrpc>

<http://ping.myblog.jp/>

<http://www.blogpeople.net/servlet/weblogUpdates>

<http://rpc.blogrolling.com/pinger/>

<http://rpc.weblogs.com/RPC2>

<http://bulkfeeds.net/rpc>

<http://blog.goo.ne.jp/XMLRPC>

<http://api.my.yahoo.com/RPC2>

エラーが頻繁に出る送信先は、効率優先ではずしてくださいね。



## 通報をご存知ですか？

今まで紹介した10項目はどれも、SEOの手法です。

つまり、検索エンジン好みのサイトにページに仕上げる方法

ココだけの話、SEO対策と呼ばれるものの多くは大手Web制作会社から「SEOスパム」と呼ばれています。

Search Engine Optimization 検索エンジン最適化

Search Engine Optimization **対策** 検索エンジン最適化**対策**

きちんとしたページを作らなくても、一時的に検索結果の表示順位を上げることができます。しかも短期間に。

でもですね、短期間に順位を上げられるということは、短期間に順位が下がることを意味しています。わかりますか？

YahooはGoogleと比べてSEOスパムに弱いのは事実です。

なぜなら、Yahooはできるだけ多くの人に利用してもらうために、それこそ5年前のブラウザでも表示できるように技術を古いままにしているからです。

そのため、今のうちに稼げるだけ稼げばいいというのもひとつの考えです、否定はしません、ただそのようなサイトはどんどんネット上から消えていっていることを最後にお伝えします。

完全自動化をうたっている Google も、とくにアドセンスサイトに関しては、人力でチェックしています。また、噂レベルではありますが下記の方法でサイト削除もしているようです。

その仕組みが、**通報です。**

方法は簡単、それぞれのページを開いて URL を貼りつけるだけ

---

GOOGLE の通報先

<http://www.google.co.jp/webmasters/spamreport.html>

YAHOO の通報先

<http://ms.yahoo.co.jp/bin/ysearch-ms/feedback>

---

いわゆる、密告ですね。

コレを悪用すればライバルサイトを落とすこともできますし、落とされたこともあります。でも、コンテンツをしっかり作って、検索エンジンスパムもしていないのであれば、恐れることはありません。

すぐに復活します。

怖いのは、ライバルだけではありません。それは一般のユーザーさんあなたのアドセンスサイトに来たユーザーさんが不満を漏らし、

**なんだよ～ 広告目的のサイトかよー**

と判断し密告されて、そのページが不適切な場合、検索エンジンからなくなります。悪気はないんでしょうね。

こちらは、検索エンジンではなく、無料ブログサービスですが

[こういったこと](#)も増えつつあります。気をつけましょうね。

## さいごに

ここまで読んでいただき、本当にありがとうございます。

このレポートを書いたきっかけは、良質な SEO を研究している組織が面白いレポートを書いていたので、ぜひシェアしたいという気持ちで書きました。いかがでしたでしょうか。

この SEO は大丈夫？ 検索エンジンにペナルティを受けない作り方を教えてなど、具体的な質問、あなたのご意見ご感想を楽しみにお待ちしております。

【連絡先】 [wada@bizcre.com](mailto:wada@bizcre.com) （必ずお返事します）



他にもこんな無料レポートを書いています。  
メルマガ読者様のリクエストにお応えし、随時追加しています。気になるものから、お読み頂けますと  
うれしいです。

ダウンロードはコチラ  
<http://bizcre.com/home/>

さらに詳しいアフィリエイト手法や具体的な例、業界の裏事情などメルマガにて配信しています。後日配信させてくださいね。

代理登録させた頂いたメルマガをお読みになり、つまらない、あわないと感じられた場合は、そのメール下部のリンクから簡単に解除できます。もちろんご購読は無料です。ご安心下さいませ。

それでは、メルマガでお会いしましょう。

2007 年 7 月  
顧客幸福コンサルタント  
和田匡笑 (わだ・ただし)